

## ■ 第2回理数教育講座

11月18日（金）に、今回は3年生を対象として、第2回『理数教育講座』が開催されました。今回もお二人の先生方においていただきました。講義題は次の通りです。

・熊本大学 工学部 数理工学科 北 直泰先生

「数学で気づけたこと、数学で気づけなかったこと」

・大分大学 工学部 応用化学科 豊田 昌宏先生

「電池のお話～エネルギー貯蔵～」



どちらの講座も難しい内容でしたが、講師の先生方の熱意と工夫で、皆、真剣に講座を受けていたようです。講座を終えて、生徒の一人、山崎麗奈さんは、次のように感想を述べています。

1時間目に講義を受けた豊田先生は、電池のしくみなど、私たちには難しいと感じることを、とても丁寧に教えてくださいました。次に講義を受けた北先生は、とても気さくな方で、数学をAKBになぞらえて話を進めてくださったので、身近でとてもわかりやすかったです。

どちらの先生も面白くて、大学にはこんな教授がたくさんいるんだなと思うと、大学のことを考えるのが楽しくなりました。将来の職業も大学も、周りだけではなくて広い視野を持って、自分が納得できる選択をしたいです。

今回の理数教育は、将来について考えるいい機会になりました。



豊田先生は、「リチウムイオン電池」について、身近な果物などを使って電池を作ることができるなど、生徒たちに興味を持たせながら丁寧に説明していただきました。



北先生は、生徒たちの身近にあるAKB48の「48」という数字などに着目させ、数理の謎を探っていくという講義でした。皆、難しい内容を楽しそうに学んでいました。

#### <生徒の感想>

今回の理数教育講座もとても楽しかったです。まず、電池のことですが、リチウム電池の仕組みや分解の話などを聞きました。まだ作られていない高性能な電池を作って、将来ノーベル賞をもらえるようになりたいと思いました。

次に、AKB48の数理について聞きました。約数が多いほど、握手に対応できるという話を聞いて、「あ！なるほど！」と思いました。こういう数理は日常生活にでも利用できるなあと思いました。また、先生が面白くて楽しかったです。

また、来年も高校1年生向けに実施してほしいと思います。ありがとうございました。

(山本 廉 くん)

最初の北先生の講義は、自分たちで実験をして、「なぜAKB48は48という数字なのか」という理由を求める作業もあって、とても面白かったです。講義の最後には、実際に「なぜ牛乳が180mlなのか」や「円はなぜ360度なのか」という理由をしっかりと知ることができました。

次の豊田先生の講義は、「電池のしくみ」から始まり、現在行われている研究についてのお話でした。電池のしくみのところでは、難しい内容が多く理解するのが大変でしたが、研究については、電池の中に入っている金属の何価の数字によって流れる電気が変わるというのを聞いて、とてもわくわくしました。今日は、とてもよい機会をいただいてありがとうございました。

(富永 元哉 くん)